

# 下関港新港地区国際物流ターミナル整備事業(水深12m)【直轄】

継続

港空一1

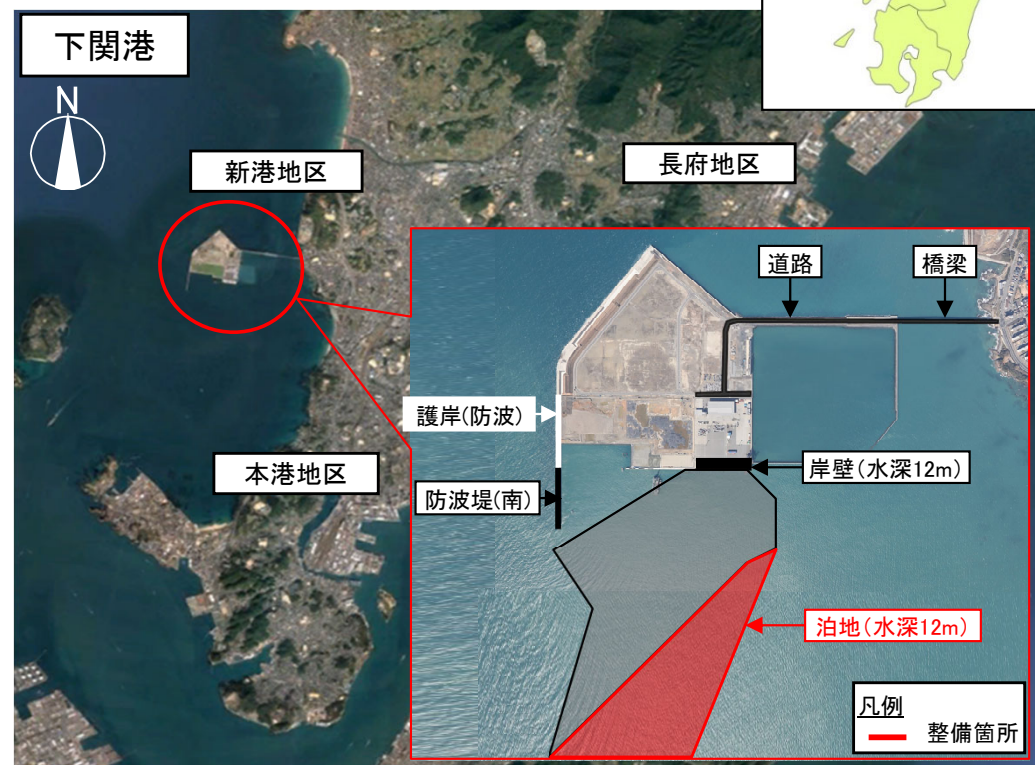
## ■ 事業概要

○下関港新港地区は、旧コンテナターミナルの利用上の制限の解消や新たな需要に対応する岸壁等の整備進捗により、コンテナ貨物を含む取扱貨物量が増加している一方、泊地の整備が完了しておらず、水深が確保出来ていない状況。

○新港地区において、国際物流ターミナル(泊地)の整備を行うことで、物流機能の拡充を図る。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費): 1.6億円
- 令和7年度補正の実施内容: 泊地の整備

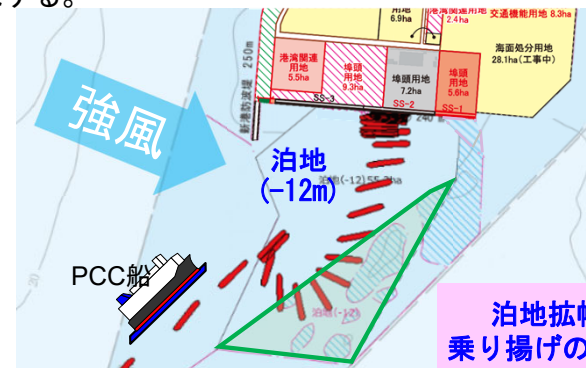


## 整備効果

○新たな国際物流ターミナルの整備により、旧コンテナターミナルから移転するコンテナ貨物や一般貨物の安定的な輸送かつ効率的な物流の確保に寄与する。



○当海域の強風時に風受け面積の広い自動車専用船(PCC船)の入港において、風の影響を受け浅海域に乗り揚げの危険性がある。浅海域を除去することで、乗り揚げによる海難事故や荒天時の避泊地が確保され、航行船舶の安全性を確保する。



# 下関港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

継続

港空-2

## ■ 事業概要

○下関港海岸は、背後に幹線道路や住宅地等の市街地が広がるとともに、企業・事業所が臨海部に集積しており、平成11年の台風18号で発生した高潮によって背後地域が甚大な浸水被害を受けた。

○山陽地区において、補正予算の充当により、水門の整備を行うことで、台風襲来等に伴う高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

## 事業内容

○令和7年度補正配分額(事業費):3.0億円

○令和7年度補正の実施内容 :水門の整備

### 【過去の被害状況】



## 整備効果

○護岸等の整備により、背後の幹線道路や住宅地、企業、事業所等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、立地企業の経済的損失を回避する。

### 【山陽地区護岸整備の状況】





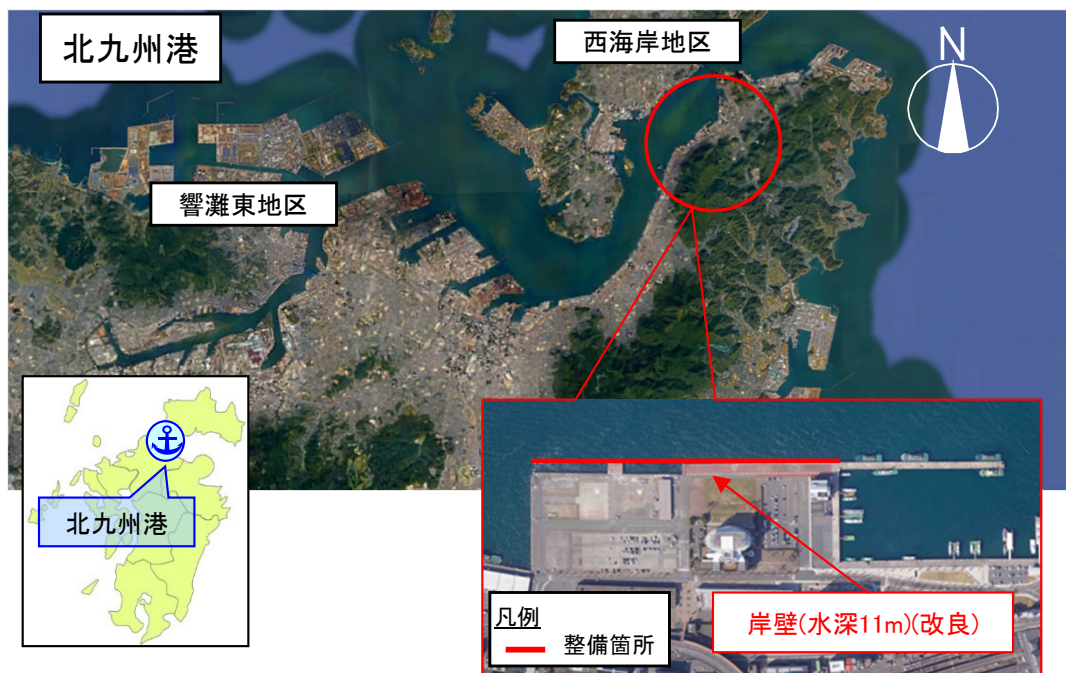
## ■ 事業概要

○西海岸地区の当該岸壁では、鋼管杭等の劣化が著しく岸壁施設としての機能不全であり、安定性の確保ができていない状況。

○西海岸地区において、老朽化対策(岸壁改良)を実施し、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 4.2億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 岸壁の改良



## 整備効果

- 予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策(岸壁改良)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。

下部工 孔食状況

西海岸地区  
岸壁(水深11m)老朽化対策  
(岸壁改良)港湾施設利用の  
安全性の確保海上交通ネット  
ワークの維持

## ■ 事業概要

○中央航路地区の既存の航路では、経年的な埋没により、浅所箇所が出現している状況。

○中央航路地区において、老朽化対策（浅所浚渫）を実施し、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

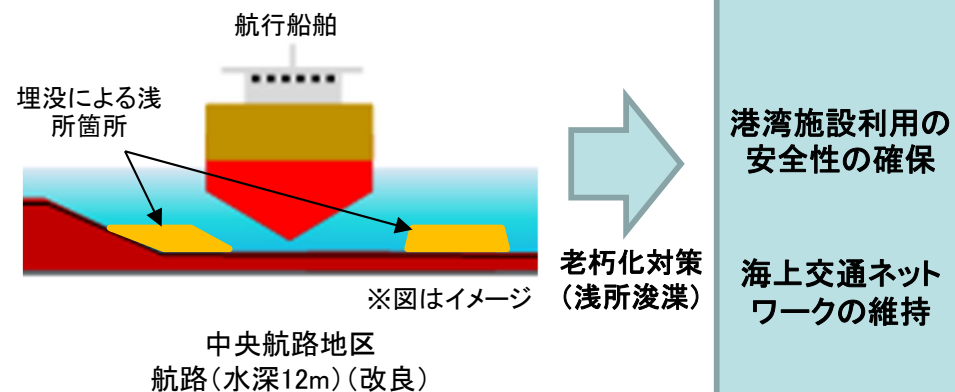
## 事業内容

- 令和7年度補正配分額（事業費）： 1.0億円
- 令和7年度補正の実施内容： 航路の改良



## 整備効果

○予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（浅所浚渫）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。





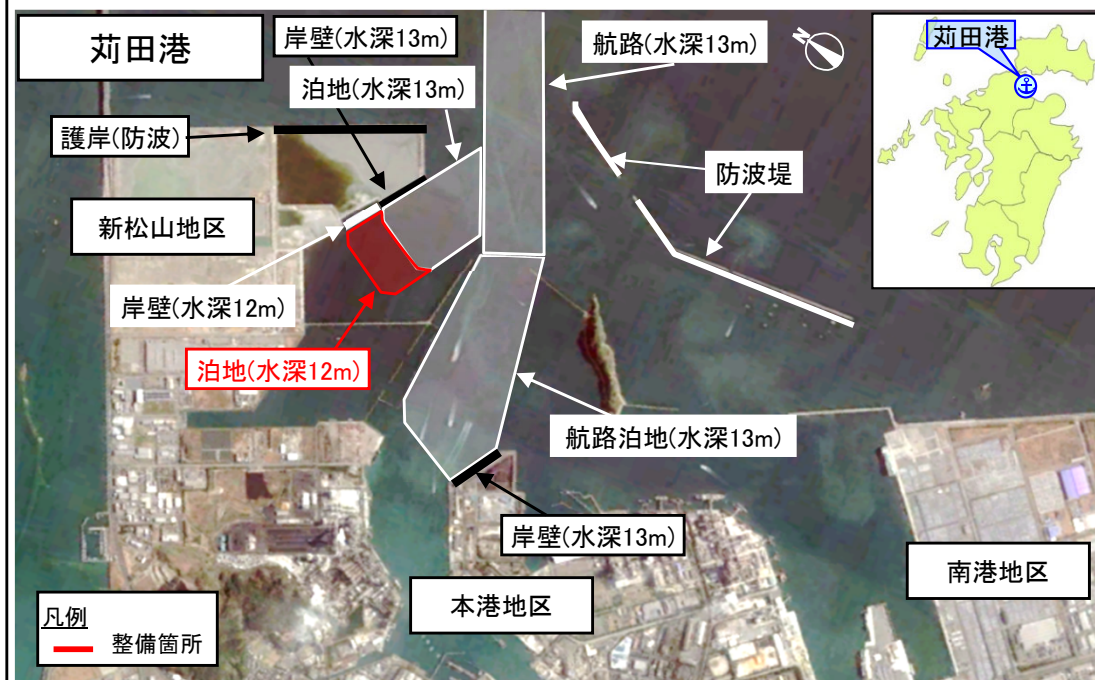
## ■ 事業概要

○荻田港の背後には、発電企業やセメント関連企業等が立地している一方、近年ではバイオマス発電企業等が進出するなど新たな貨物の取り扱いが開始されている中、背後企業が取り扱う貨物需要の増加とそれに伴う船舶の大型化に対応できていない状況。

○荻田港の国際物流ターミナルの整備(岸壁、航路等)を実施することで、バイオマス発電企業等の新規取扱貨物の増加に対応した一括大量輸送が可能となり輸送の効率化を図る。

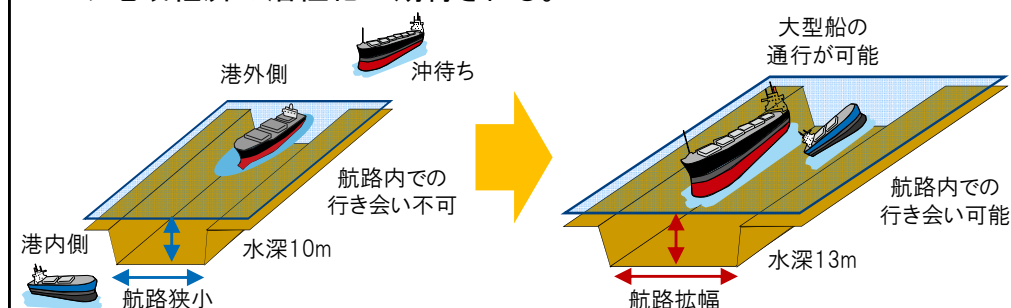
## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 11.8億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 泊地の整備



## 主な整備効果

○大型岸壁の整備や航路の拡幅増深を行い、船舶の大型化に対応することで、非効率な輸送が解消され、企業の国際競争力の強化や地域経済の活性化が期待される。



【航路の増深・拡幅の効果イメージ】

○新たな岸壁整備により、大型船での大量輸送が可能となり、効率的な物流が実施されることで、既存産業の活力の維持・向上及び新規分譲用地への新規企業の立地等が期待され、地域経済の活性化や新たな雇用創出が期待される。



【バイオマス燃料の荷役状況】

## ■ 事業概要

○三池港内港北地区の航路(水深10m)では、経年的な埋没により、浅所箇所が出現している状況。

○内港北地区において、老朽化対策(浅所浚渫)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

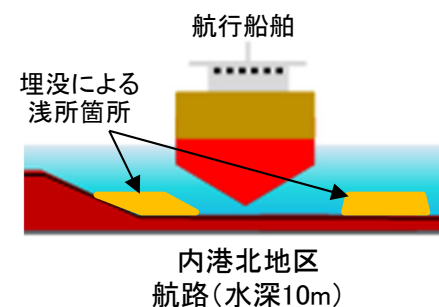
## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 4.6億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 航路の改良



## 整備効果

○予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策(浅所浚渫)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。



※図はイメージ



港湾施設利用の  
安全性の確保

海上交通ネット  
ワークの維持



## ■ 事業概要

- 唐津港東地区では、老朽化対策と合わせた耐震強化岸壁の整備進捗により、貨物の取り扱いやクルーズ船の寄港が進む一方で、航路泊地の整備が完了しておらず、水深が確保できていない状況。
- 東港地区において、複合一貫輸送ターミナルの航路泊地整備を実施することで、国内貨物の輸送効率化、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応する。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 0.5億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 航路泊地の整備



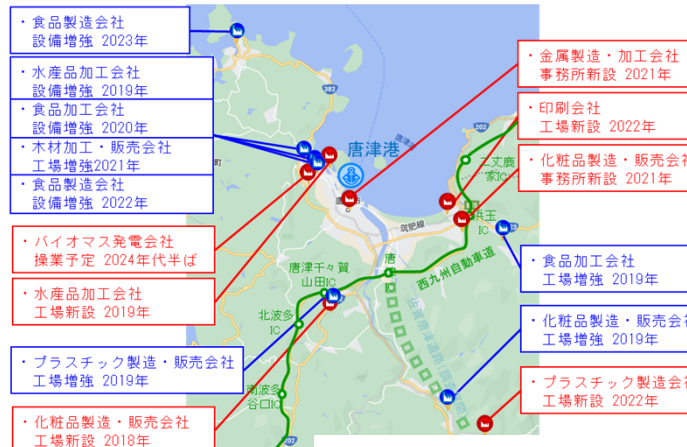
## 主な整備効果

- 施設の老朽化対策と合わせて、大規模地震に対応した施設を整備したことで、貨物の取り扱いやクルーズ船の寄港が進み、輸送効率化による輸送コストの削減、国際観光収益の増加等を実現し、地域産業の競争力の確保・強化に寄与している。

### 岸壁供用後の利用状況



### 新規企業立地の促進



企業立地等による投資額および雇用者の増加が期待される

新規立地: 7社

生産拡大: 8社

(過去5年 2023.6 時点)

(出典: 唐津市ホームページ、企業ヒアリング等を基に作成)

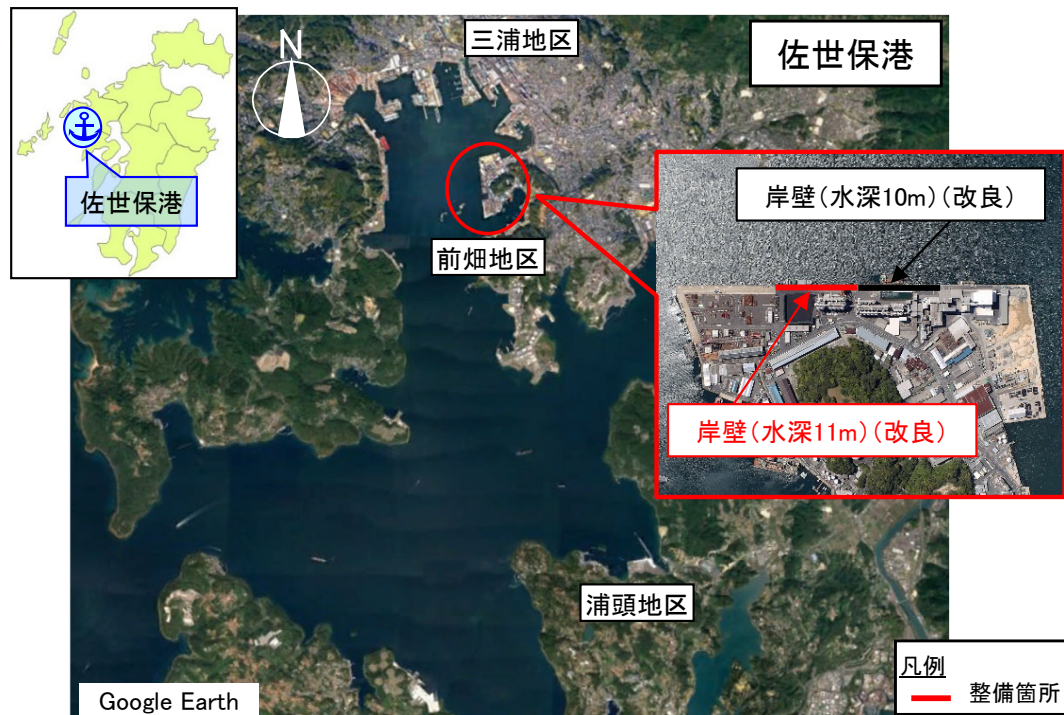
## ■ 事業概要

○佐世保港前畑地区の既存岸壁では、本体鋼管杭の腐食、本体コンクリートの剥離の発生等、老朽化が進行している状況。

○前畑地区において、老朽化対策（岸壁改良）を実施することで、港湾施設の利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額（事業費）：2.1億円
- 令和7年度補正の実施内容：岸壁の改良



## 整備効果

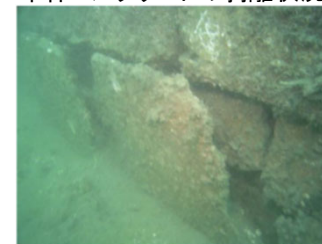
○予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（岸壁改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。

本体鋼管杭の腐食状況



前畑地区  
岸壁(水深10m)

本体コンクリートの剥離状況



前畑地区  
岸壁(水深11m)

老朽化対策  
(岸壁改良)

港湾施設利用の  
安全性の確保

海上交通ネット  
ワークの維持



## ■ 事業概要

○厳原港厳原地区の防波堤は、港内静穏度の確保に重要な施設であるが、消波工の沈下等による高波浪時の堤体の安定性が低下し、老朽化が進行している状況。

○厳原地区において、老朽化対策(防波堤改良)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 1.9億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 防波堤の改良



## 整備効果

○予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策(防波堤改良)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。

消波工 沈下状況



防波堤(北) 越波状況



厳原地区  
防波堤(北)

老朽化対策  
(防波堤改良)



港湾施設利用の  
安全性の確保

海上交通ネット  
ワークの維持

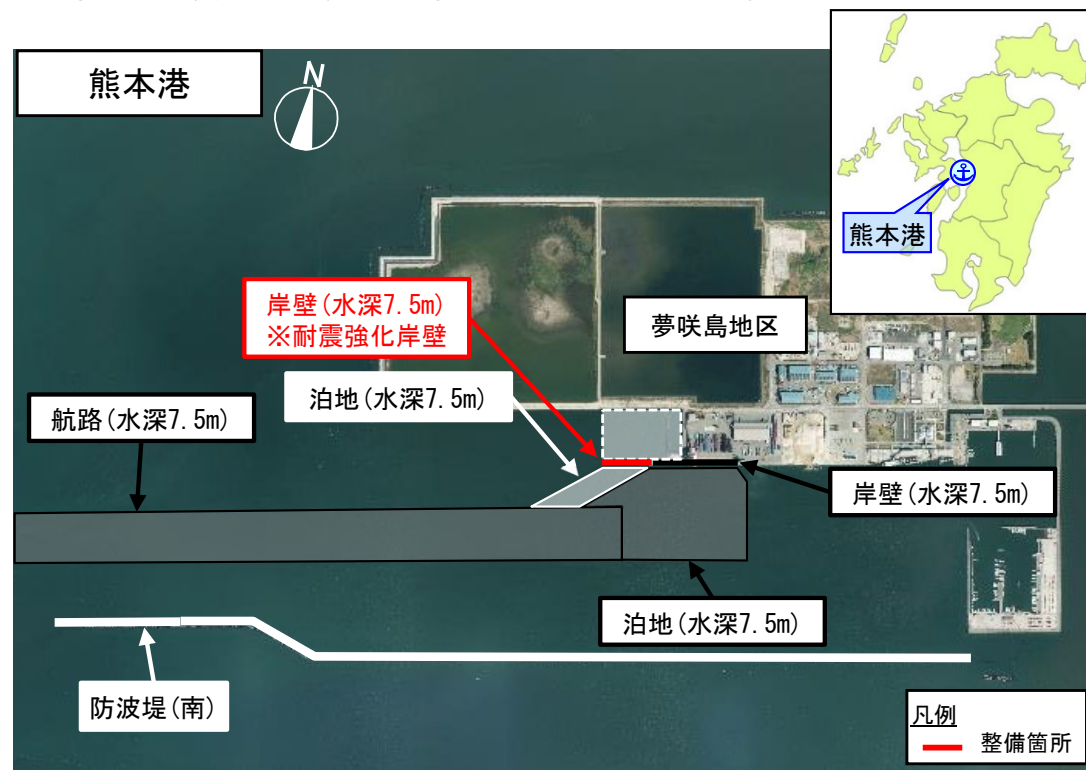
## ■ 事業概要

○熊本港夢咲島地区では、半導体企業関連企業の新たな進出等を受けた新たな貨物の取り扱いが想定される中、背後企業が取り扱う貨物需要の増加に対応できていない状況。

○夢咲島地区において、国内物流ターミナル(岸壁、防波堤)を整備することで、半導体企業関連企業の新規貨物の増加へ対応するとともに、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応することによる防災機能の強化を図る。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 5.0億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 岸壁の整備

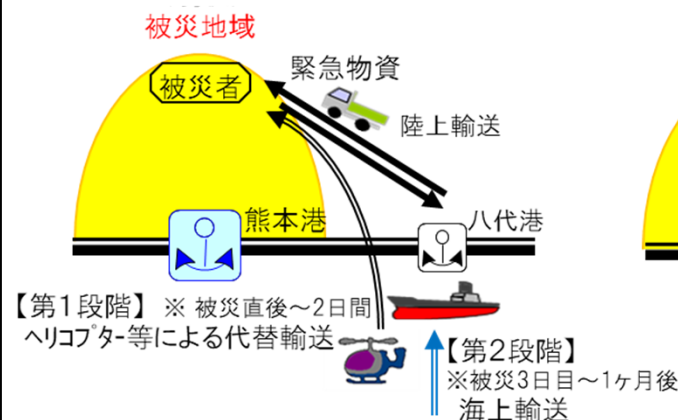


## 整備効果

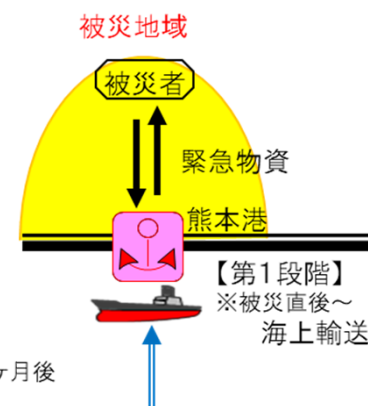
○熊本港整備の進捗、コンテナターミナルの機能充実に伴い、熊本港における外貿コンテナ貨物の取扱量が増加しており、都市圏背後に立地する企業の輸送拠点として熊本経済の発展に寄与している。

○また、大規模地震に対応した施設を整備することにより、災害発生時の緊急物資輸送船の受け入れが可能となり、防災機能の強化に資する。

### 整備前



### 整備後





## ■ 事業概要

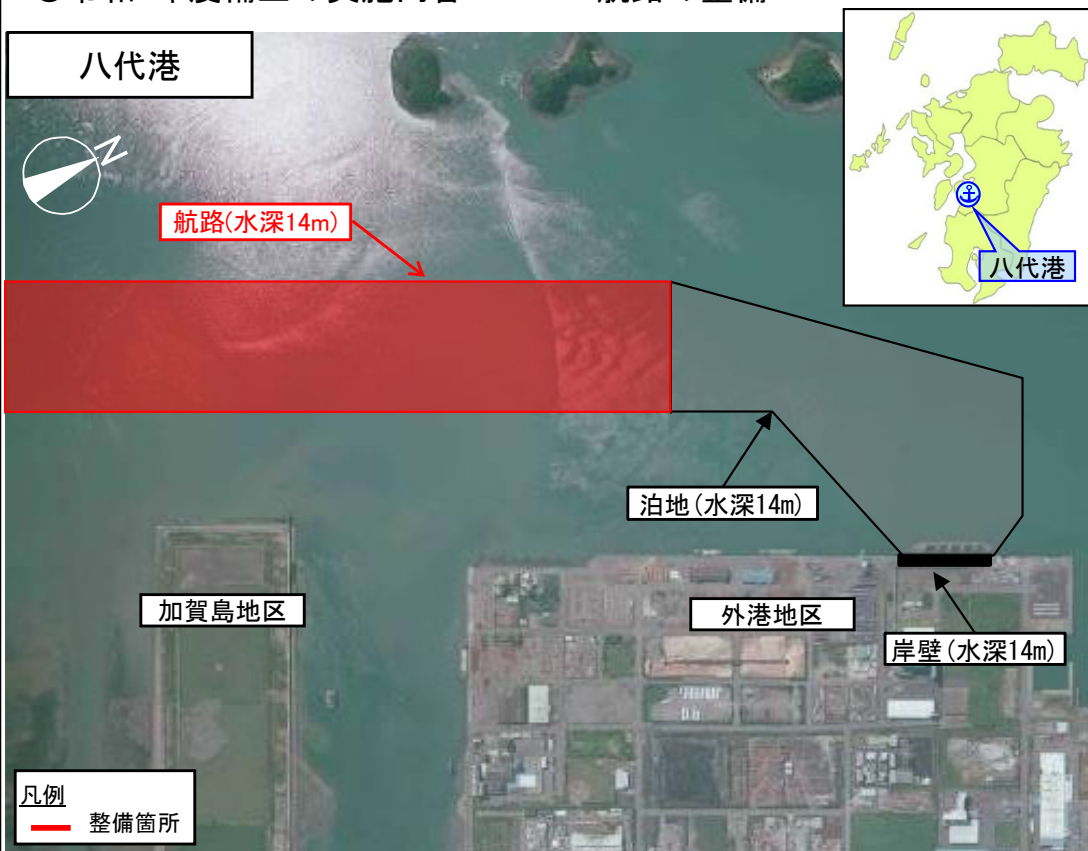
○八代港は、穀物飼料の原料輸入及び飼料生産・供給拠点として、中九州地域を中心とした畜産業を支えている一方、穀物運搬船の大型化に対応できる施設がないため、喫水調整により入港する等、非効率な輸送を強いられている。

○外港地区において、国際物流ターミナルの整備(航路増深)を実施することで、船舶の大型化に対応した輸送の効率化を図る。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 11.0億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 航路の整備

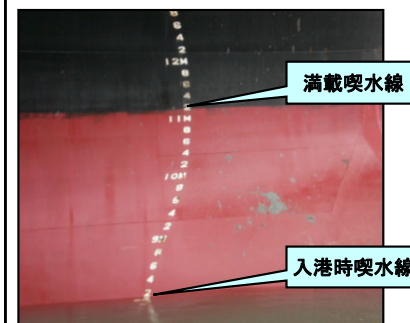
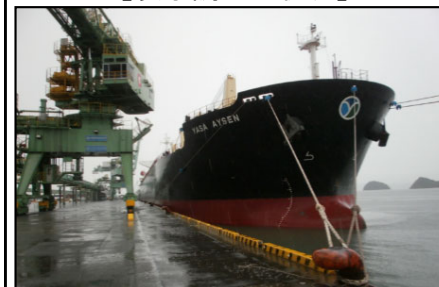
### 八代港



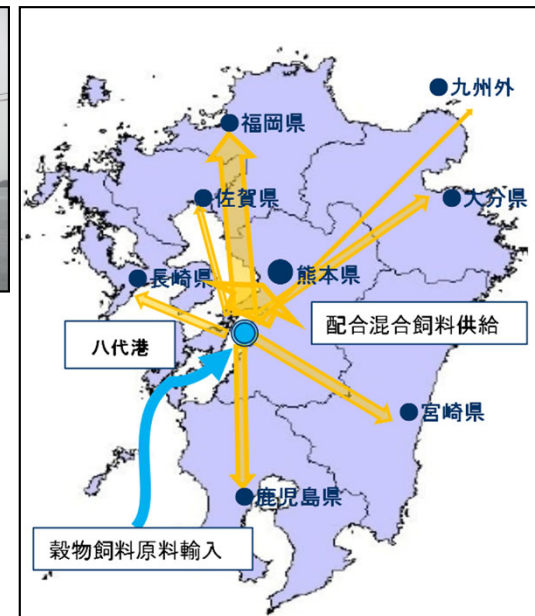
## 整備効果

○船舶の大型化に対応した施設を整備することで、一括大量輸送による輸送コストの削減を実現し、畜産業の国際競争力確保に寄与する。

### 【喫水調整の状況】



### 【配合・混合飼料供給先(イメージ)】



3万トン以上の入港船舶は喫水調整により入港

## 別府港石垣地区旅客対応ターミナル整備事業【直轄】

継続

港空－12

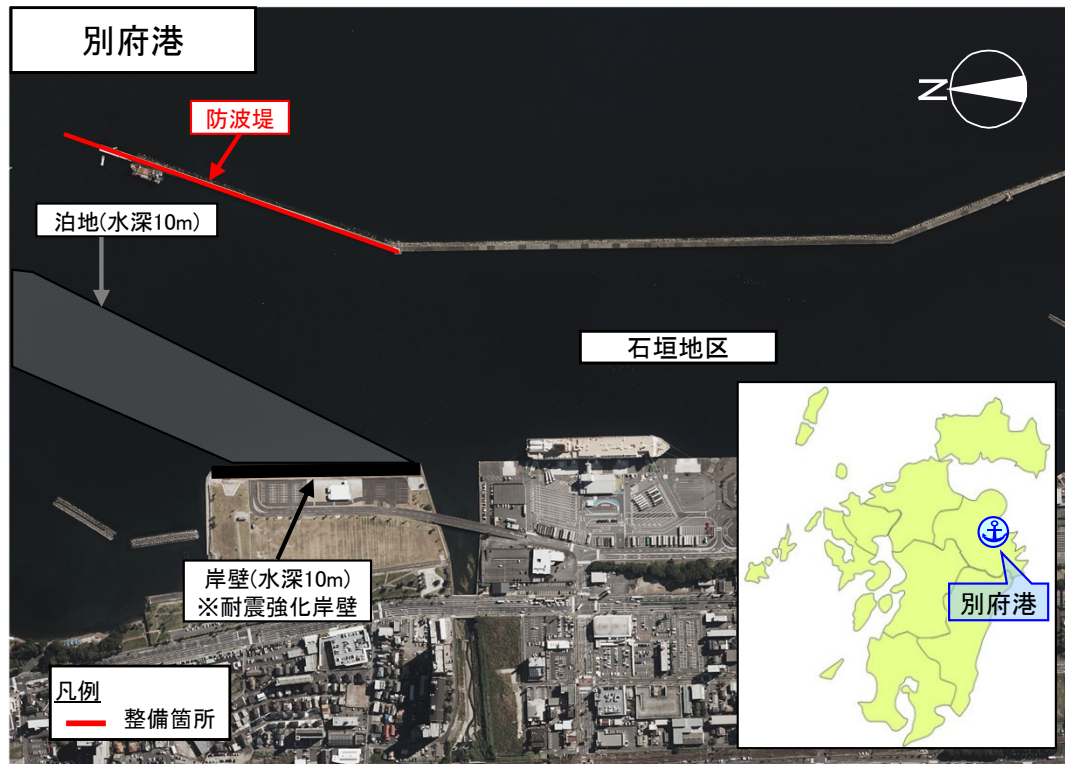
## ■ 事業概要

○別府港石垣地区では、海の玄関口として旅客対応ターミナルを整備するものだが、現状では、防波堤が整備途中であり、所要の港内静穏度が確保されていないため、荒天時に入出港の遅れが生じている状況。

○石垣地区において、旅客対応ターミナル(岸壁、泊地、防波堤)の整備を実施することで、大型旅客対応の寄港回数や港湾来訪者数の増加に対応し、国際観光収入や交流機会の増加を図るとともに、大規模地震時の海上からの緊急物資輸送を確保する。

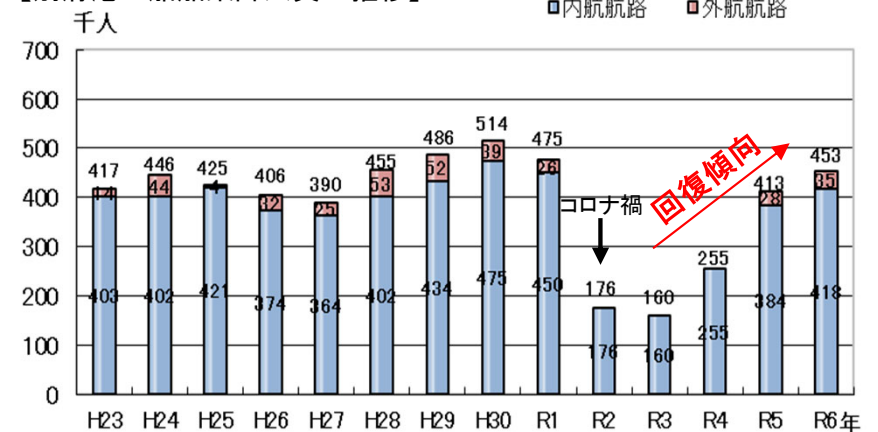
## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 2.0億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 防波堤の整備



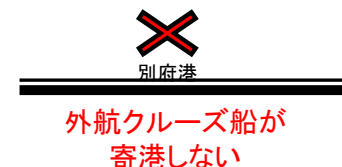
## 主な整備効果

【別府港の船舶乗降人員の推移】

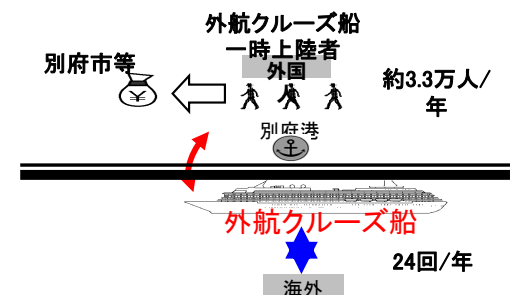


【整備効果 クルーズ客船の寄港需要への対応】

現状



整備後





## ■ 事業概要

○大分港海岸は、県都大分市の市街地と製鉄業や石油化学工業を中核とする臨海工業地帯を防護する海岸線を形成しており、南海トラフ地震・津波の切迫性に加え、過年度の台風時の高潮・高波によって背後地域の浸水被害を受けた。

○津留地区及び乙津地区において、補正予算の充当により、護岸の整備を行うことで、南海トラフ地震・津波や台風襲来時等に伴う高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費):4.3億円
- 令和7年度補正の実施内容 :護岸の改良等

### 【過去の被害状況】

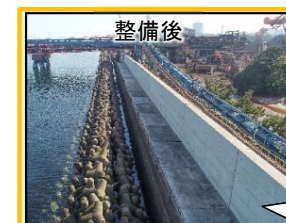
平成26年台風19号により高潮・高波が発生し浸水



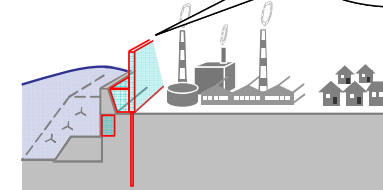
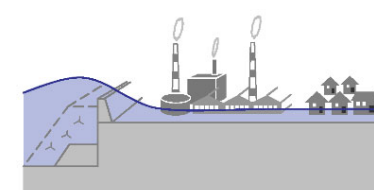
## 整備効果

○護岸等の整備により、市街地、臨海工業地帯等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、立地企業の経済的損失を回避する。

### 【津留地区護岸整備の状況】



護岸整備により背後地を防護



## ■ 事業概要

○細島港では、港湾背後の化学関連企業等が設備増強を進めている中、既存岸壁の水深不足により、貨物需要の増加に対応した船舶の大型化に対応できない状況。

○工業港地区において、複合一貫輸送ターミナル(岸壁)の整備を行うことで、RORO船の喫水調整の解消や大型新造船の就航を可能とし、背後企業の貨物需要に対応するとともに、国内幹線物流機能の強化を図る。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 8.0億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 岸壁の整備

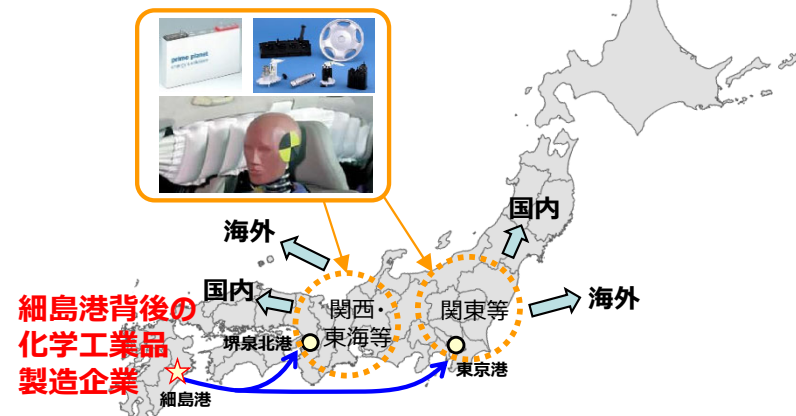


## 主な整備効果

- 岸壁等の整備により、RORO船の喫水調整の解消や大型新造船の就航が可能となる。これにより、背後企業の競争力強化と化学工業品の安定的な国内供給が可能となり、それら製品を利用する自動車産業等の生産基盤の強化や国際競争力が向上する。

### 地域の化学工業の振興及び 化学工業品の安定的な国内供給

細島港背後企業の化学工業品を使用した  
自動車部品等の流通イメージ





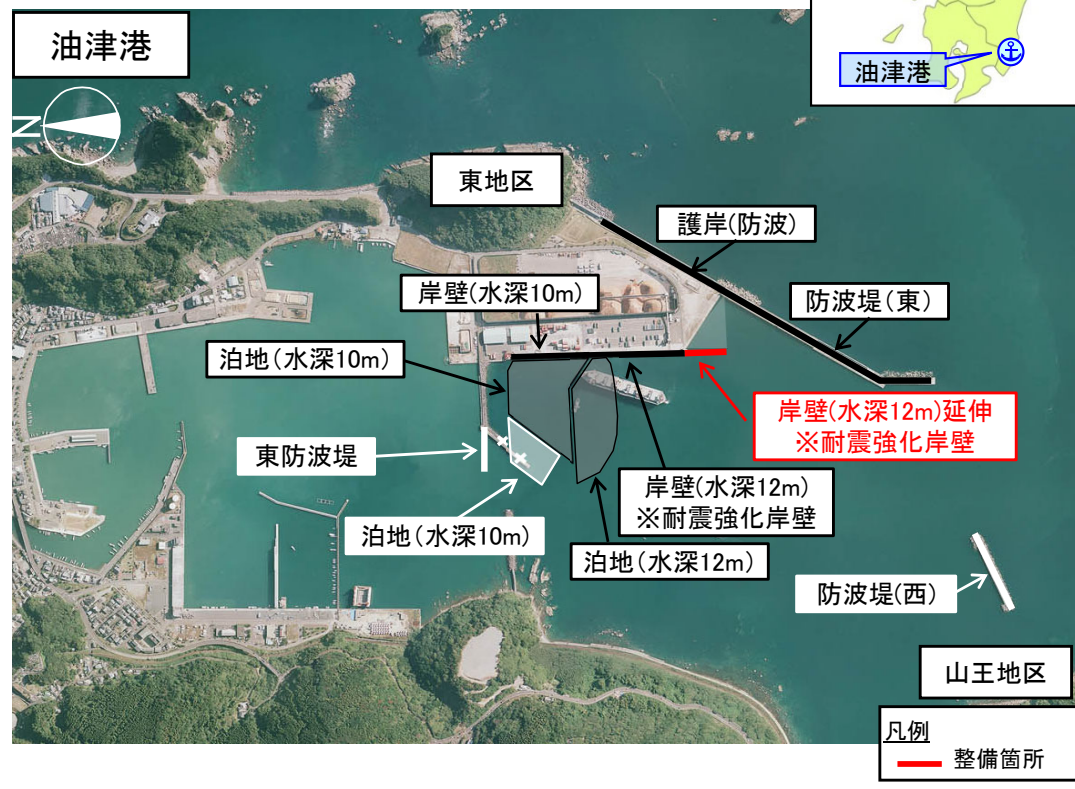
## ■ 事業概要

○油津港東地区では、宮崎県南地域の産業関連物資の輸送効率化に資するため物流ターミナルの整備を進めている一方、背後企業が取り扱う貨物需要の増加に対応できていない状況。

○東地区において、国際物流ターミナル(岸壁)の整備を実施することで、貨物需要に対応した船舶の大型化による船舶航行の安全性の確保、物流機能の効率化を図るとともに、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応する。

## 事業内容

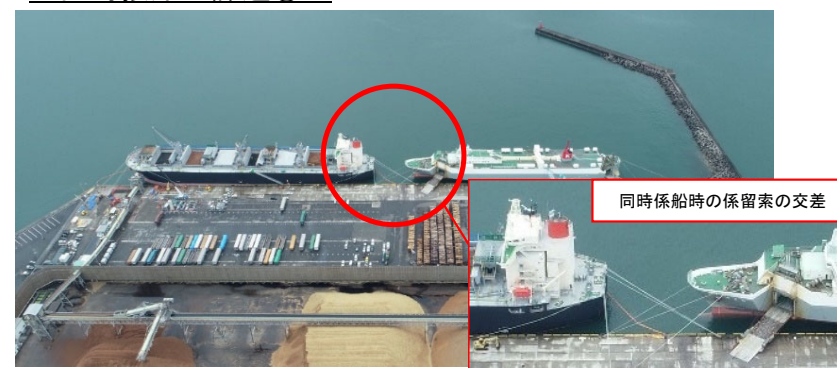
- 令和7年度補正配分額(事業費) : 2.6億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 岸壁の整備



## 整備効果

- 国際物流ターミナルの整備により岸壁(水深12m)を延伸することで、同時接岸時の係船索の交差による不安全的係留の解消や沖待ち解消による物流機能の効率化に寄与する。

### <同時接岸の課題①>



### <同時接岸の課題②>



同時接岸時の安全性確保・貨物船の待避解消

岸壁延伸

# 川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業(水深12m)【直轄】

継続

港空-16

## ■ 事業概要

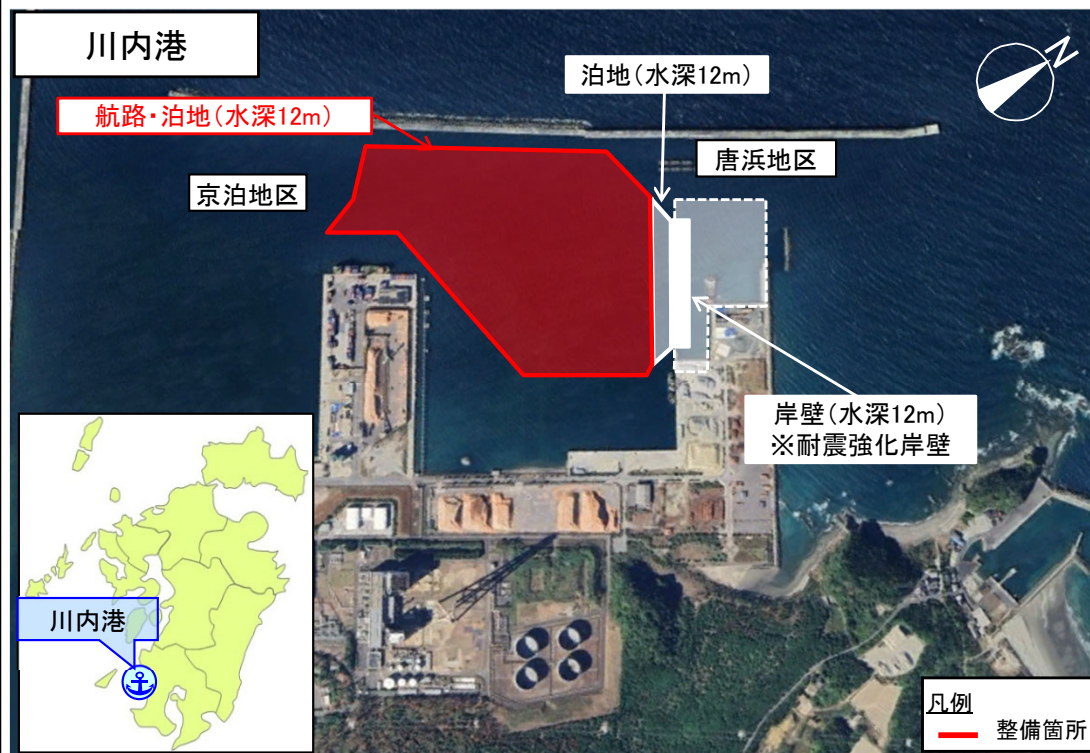
○川内港は、背後産業の原材料や製品等を取り扱う北薩地域の物流拠点として重要な役割を果たしている。また、川内港背後圏の木材素材生産量は増加傾向であり、最寄りの川内港からの林産品輸出の要請があるが、岸壁の制約から、非効率な輸送を強いられている。

○唐浜地区において、国際物流ターミナル(岸壁、泊地等)の整備を実施することで、国内幹線物流機能の強化を図るとともに、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応する。

## 事業内容

○令和7年度補正配分額(事業費) : 8.0億円

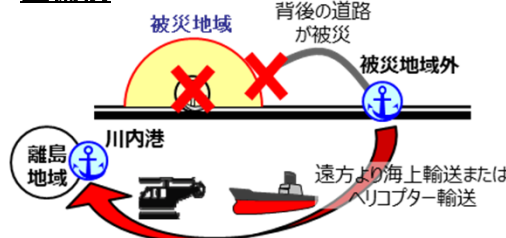
○令和7年度補正の実施内容 : 航路・泊地の整備



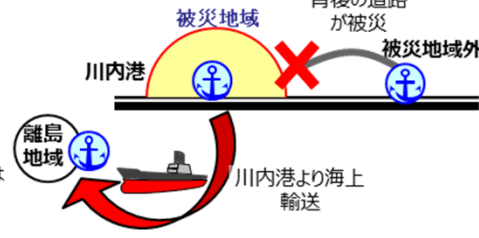
## 整備効果

○本事業の実施により、船舶が大型化され、1回あたりに輸送できる貨物量が増加し、海上輸送が効率化する。また、近傍の川内港を利用することにより、輸送距離が短縮され、陸上輸送が効率化する。

### 整備前

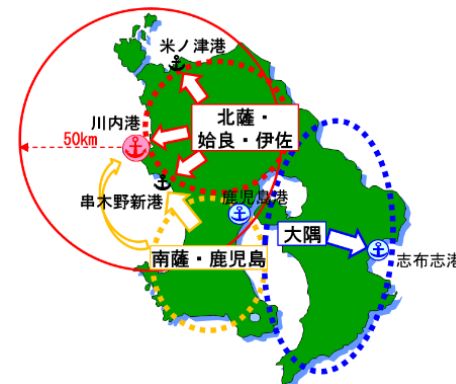


### 整備後



○本事業の実施により、木材輸出が促進されることで、適切な木材の利用が図られ、地域における林業の振興に寄与する。

### 【川内港での原木積み込み状況】



鹿児島県は豊富な森林資源を有しており、特に川内港背後圏の木材の素材生産量は増加傾向



## 鹿児島港臨港道路整備事業(鴨池中央港区線)【直轄】

継続

港空-17

## ■ 事業概要

○鹿児島港は、鹿児島市の南北約20kmの範囲におよび、離島との基地港として島民の生活を支えるとともに、地域産業を支える物流拠点として重要な役割を果たしている。一方、港内南北の臨港道路のうち、鴨池港区から中央港区間が未整備で繋がっていない状況となっている。

○鴨池港区から中央港区間において、臨港道路における港湾物流のボトルネックを解消し、円滑な港湾物流の確保とともに、市内幹線道路の交通渋滞を緩和する。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 18.0億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 臨港道路の整備



## 主な整備効果

○臨港道路の整備により、交通混雑が緩和することで、円滑な港湾物流の確保と、市内幹線道路の交通渋滞を緩和する。

国道225号線の交通混雑状況

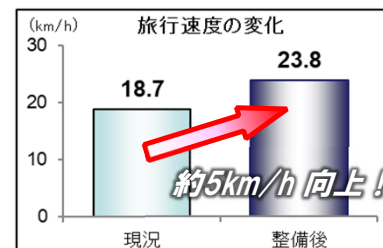


至 鹿児島市街地

産業道路の交通混雑状況



至 鹿児島市街地



混雑度の変化

混雑度	現況	整備後
値	1.35	1.09

現況はR1.7月交通量調査結果より  
将来はH42交通量推計より

## ■ 事業概要

○志布志港は、日本屈指の農畜産地帯である南九州地域への飼料等の供給拠点として重要な役割を果たしている。一方で、効率的な輸送体系の構築、既存施設の老朽化への対応及び大規模地震発生後の物流機能の確保等の課題が顕在化している。

○新若浜地区において、耐震性を備えたターミナルの整備を実施することで、大型穀物船による一括大量輸入への転換を促進するとともに、配合飼料原料の輸送効率化等を推進する。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 7.1億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 岸壁の整備



## 主な整備効果

○岸壁等の整備により、大型穀物船(満載)による一括大量輸入が可能となり、安価で安定的な飼料供給を行うことで、南九州地方における畜産経営の安定化や消費者に対する畜産物の安定供給を図る。

【岸壁(水深14m)を経由した大型穀物船による一括大量輸入のイメージ】





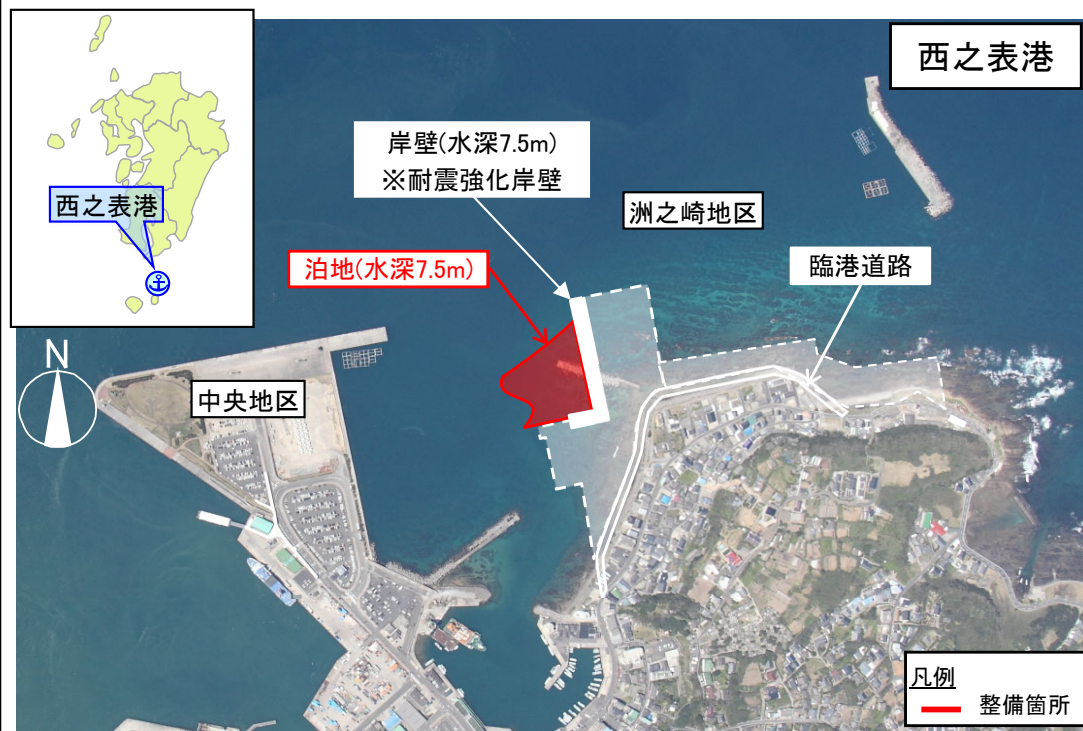
## ■ 事業概要

○西之表港のRORO航路は、種子島で唯一の貨物専用定期航路であり、住民の生活物資、生産品等の物資を輸送しているが、既存岸壁の制約により、繁忙期等に積残しが生じており、将来的な船舶大型化にも対応できない状況。また、西之表港では耐震強化岸壁が整備されておらず、地震発生時の種子島及び周辺離島の海上輸送機能の確保が急務となっている。

○洲之崎地区において、複合一貫輸送ターミナル(岸壁、泊地)の整備を行い、貨物需要の増大に伴う船舶の大型化に対応するとともに、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応する。

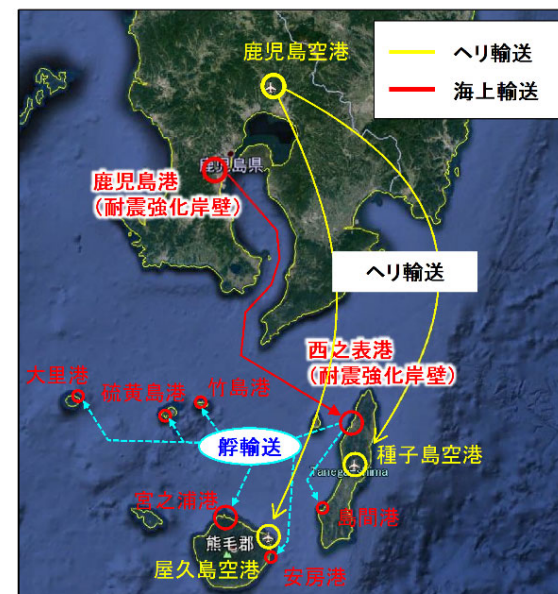
## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費) : 2.0億円
- 令和7年度補正の実施内容 : 泊地の整備



## 主な整備効果

- 本事業の実施により、種子島で唯一の耐震強化岸壁が整備されることで、被災時においても海上輸送が可能となり、背後地域の社会・経済活動を維持することが期待される。
- また、種子島のみならず、周辺離島の海上輸送機能が確保され、周辺離島も含めた地域住民の安全・安心が確保される。



【周辺離島が被災した場合の物流の動き(イメージ)】

## ■ 事業概要

○指宿港海岸は、温泉観光都市である指宿市の中核となる観光施設や宿泊施設の多くが海岸沿いに集積している中、砂浜の著しい侵食と既設護岸の老朽化により、過年度の台風時の高潮・高波によって背後地域の浸水被害や背後道路の陥没等が発生。

○湯の浜地区において、補正予算の充当により、突堤等の整備を行うことで、台風来襲等に伴う海浜侵食や高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

## 事業内容

- 令和7年度補正配分額(事業費):28.4億円
- 令和7年度補正の実施内容 :突堤等の整備



## 整備効果

○護岸等の整備により、観光施設、宿泊施設、市街地等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、地域産業の経済的損失を回避する。

### 【湯の浜地区護岸整備の状況】



海岸整備により  
背後地を防護



砂浜の整備により  
海岸利用も促進